

## 平成31年度第七次長野市行政改革大綱実施計画に追加する改革項目(案)

## 1 新規の改革項目

## (1) AI・RPA導入の検討

## 基本方針2 効果的・効率的な行政運営の推進

## 取組項目(3) ICTの利活用

名称(改革項目)	内容・進め方	担当所属
AI・RPA導入の検討	AI・RPAを事務の効率化、時間外勤務の縮減、働き方改革に繋げていくために、適した事務で実証実験をするとともに、効果検証をしながら、導入の可能性を検討する。	情報政策課

- ・AI(Artificial Intelligence):人工知能

- ・RPA(Robotic Process Automation):これまで人が行っていた業務をAIやソフトウェア等を活用して代行・代替する取り組み

## (2) 情報システムの更新

## 基本方針2 効果的・効率的な行政運営の推進

## 取組項目(3) ICTの利活用

名称(改革項目)	内容・進め方	担当所属
情報システムの更新	情報システムの導入、更改、改修を行う際には、情報システム化協議を行い、必要性、時期、費用の妥当性を評価することにより、全体コストの低減、情報資産の圧縮、重複投資の防止、運用経費の削減につなげていく。また、システムの適正な導入のため、調達支援を行う。	情報政策課

## 2 新規改革項目の個票

次ページのとおり

# 第七次長野市行政改革大綱 実施計画

No. 2-(3)

位置づけ	ICTの利活用	総務部 情報政策課
------	---------	--------------

名称	AI・RPA導入の検討	新規 平成31年度
----	-------------	--------------

目的理由背景	働き方改革、事務処理スピード化・人手の省力化等の観点からAI・RPAを導入し、適合事務の選定や効果測定を行う必要がある。	
--------	--------------------------------------------------------------	--

内容進め方	AI・RPAを事務の効率化、時間外勤務の縮減、働き方改革につなげていくために、適した事務で実証実験をするとともに、効果検証をしながら、導入の可能性を検討する。	
-------	---------------------------------------------------------------------------------	--

指標 (到達目標)	目標の達成度を測る指標	計画期間内の目標数値 (いつまでに何をどの程度にするのか)
	AI・RPAの導入	平成34(2022)年度までに、順次、事務選定、現地調査、実証実験、効果測定を行い適用可能な業務からAI・RPAを導入することにより事務の効率化を図る。

指標の年度目標の進行管理	年度	H30	H31	H32	H33	H34
	目標			第一次事務選定 現地調査 実証実験 効果測定	第二次事務選定 現地調査 実証実験 効果測定	第三次事務選定 現地調査 実証実験 効果測定
主な実施項目のスケジュール	実績					
(第一次) 事務選定・実証実験・効果測定	計画		----->			
	実績					
(第二次) 事務選定・実証実験・効果測定	計画			----->		
	実績					
(第三次) 事務選定・実証実験・効果測定	計画				----->	
	実績					
(第四次) 事務選定・実証実験・効果測定	計画					----->
	実績					
	計画					
	実績					

平成29年度以前の取組状況 (第六次大綱から継続している取組項目の場合のみ)
----------------------------------------

平成30年度 (第 年次)	
実施内容 (実績)	
評価	評価の理由及び課題
対応方針 (次年度)	
備考	

# 第七次長野市行政改革大綱 実施計画

No. 2-(3)

位置づけ	ICTの利活用	総務部 情報政策課
------	---------	--------------

名称	情報システムの更新	新規 平成31年度
----	-----------	--------------

目的理由背景	長野市高度情報化推進基本計画の「ICTガバナンスの強化」施策において、長野市ICT調達ガイドラインを作成して、庁内への浸透を行うことにより、職員のICTリテラシーの向上を図り、ICT調達の効率化、高度化を進めていくこととしている。	
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

内容進め方	情報システムの導入、更改、改修を行う際には、情報システム化協議を行い、必要性、時期、費用の妥当性を評価することにより、全体コストの低減、情報資産の圧縮、重複投資の防止、運用経費の削減につなげていく。また、システムの適切な導入のため、調達支援を行う。	
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

指標 (到達目標)	目標の達成度を測る指標	計画期間内の目標数値 (いつまでに何をどの程度にするのか)
	情報システムの適切な更新	情報システムの導入、更改、改修に関する情報システム化協議及びプロポーザル等の調達支援を適時、適切に行う。

指標の年度目標の進行管理	年度	H30	H31	H32	H33	H34
	目標			情報システム化協議及び調達支援の実施	情報システム化協議及び調達支援の実施	情報システム化協議及び調達支援の実施
主な実施項目のスケジュール	実績					
	計画					
情報システム化協議の実施	計画					
	実績					
プロポーザル等の調達支援	計画					
	実績					
	計画					
	実績					
	計画					
	実績					
	計画					
	実績					

平成29年度以前の取組状況 (第六次大綱から継続している取組項目の場合のみ)
----------------------------------------

平成30年度 (第 年次)	
実施内容 (実績)	
評価	評価の理由及び課題
対応方針 (次年度)	
備考	